

2016年11月2日

日立 GE ニュークリア・エナジー株式会社

## 英国向け改良型沸騰水型原子炉の原子炉化学の規制課題に関する審査が終了

2017 年末の包括的設計審査完了に向け大きく前進

英国原子力規制庁(ONR<sup>\*1</sup>)は、2016年10月31日、日立 GE ニュークリア・エナジー株式会社(取締役社長:武原秀俊/以下、日立 GE)が、英国ホライズン・ニュークリア・パワー社ウィルヴァ・ニューウィッド原子力発電所の原子炉供給者として、改良型沸騰水型原子炉(以下、ABWR<sup>\*2</sup>)の一般環境許可審査(以下、GEP<sup>\*3</sup>)および包括的設計審査(以下、GDA<sup>\*4</sup>)において、「RI-0001<sup>\*5</sup>(原子炉化学分野の重要な規制課題である通常運転時における放射性核種<sup>\*6</sup>のソースターム<sup>\*7</sup>の設定)」に関する審査を終了したと発表しました。本審査の終了は、ABWR の英国内導入に向け、2017 年末に GDA を計画通り完了させるための大きな前進となります。

RI-0001 とは、原子炉水と原子炉水から移行する蒸気、廃液、オフガス<sup>\*8</sup> などプラント内の流体中の放射性核種の種類と量を示す指標であるソースタームの設定を求めるものです。ソースタームは、プラントの安全評価および環境影響評価を行うために用いられており、日立 GE では、今回、世界中のプラントのデータの中から炉型、水質、材料などが類似したプラントのデータをスクリーニングして、統計処理を施す評価を実施し、英国に導入予定の ABWR に対するソースタームを再設定し、各種安全評価、環境影響評価を行いました。

日立 GE では、GDA 関連業務に従事する 300 人を超える専門家の知見を生かすことで、残りの審査についても引き続き進展を図り、GDA を計画通りに進めていきます。

\*1 ONR: Office for Nuclear Regulation

\*2 ABWR: Advanced Boiling Water Reactor

\*3 GEP: Generic Environmental Permit

\*4 GDA: Generic Design Assessment

\*5 RI-0001: Regulatory Issue 0001 (Radioactive Source Term during Normal Operations)

\*6 放射性核種: 放射能をもつ核種。自然に放射線を放出して崩壊し、他の原子核に変わる原子核。

\*7 ソースターム: 施設外部に放出される可能性のある汚染物質の種類、量、物理的・化学的形態の総称。

\*8 オフガス: プラント内で原子炉の冷却水などから放出されるガス。

以 上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---